

# これからの中学校音楽科

表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、音楽を愛好する心情を育てるとともに、音楽に対する感性を豊かにし、音楽活動の基礎的な能力を伸ばし、豊かな情操を養う。

⇒ 表現及び鑑賞の幅広い活動を通して

- 1 音楽を愛好する心情を育てる → 音楽を好きになること
- 2 音楽に対する感性を豊かにする → 音楽の諸要素（リズム感・旋律感・和声感・強弱感・速度感・音色感など）を知覚し、その美しさや豊かさなどの質的な内容を感じ取る力を育てること
- 3 音楽活動の基礎的な能力を伸ばす → 感じたことや心に描いた思いを、自ら声や楽器で表現したり、演奏のよさや音楽の楽しさを感じ取りながら、主体的に聴いたりすることができること
- 4 豊かな情操を養う → 音楽経験を通して培われる、美しいものを美しいと感じ、感動し、さらに美しいものを追求する心など、豊かな心や感情を養うこと

音楽科の教科目標を達成することが、“生きる力”の育成につながる

⇒ 授業では

- 1 情意面・技能面のバランスのとれた学習活動
- 2 和楽器に触れさせる
- 3 表現方法・表現形態の選択
- 4 音への興味・関心を高めるため、自然音や環境音を用いる
- 5 指導と評価の一体化

➤ 指導内容と方法

- 1 楽しい音楽活動
- 2 表現と鑑賞の関連を図る
- 3 多様な音楽経験
- 4 基礎・基本の確実な習得と個に応じた指導の充実
- 5 生徒が学習内容や楽曲・演奏方法・楽器など選べるよう
- 6 選択音楽については、ねらいを明確に

➤ 評価について

- 1 学習指導要領の示す目標・内容に準拠した評価規準や判断基準の設定
- 2 評価計画の準備
- 3 情意面・技能面より評価
- 4 観点別評価を基本

学習指導要領の趣旨や内容の理解を深める